

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	専門性のある事業所として、家族に事情説明を行う等、短時間でも玄関に通じる引き戸も開錠する努力をしてみたい。	安全面も確認しながら、ご家族様に確認し理解を求めていきたい。また利用者様が圧迫感を感じないように努める。	利用者様の言動に注視し、外やベランダを活用し閉塞感の軽減を図っていく。	6ヶ月
2	35 (13)	今後時期をみて、消防署の立会いを求めたり、自主訓練の回数を重ねて、災害時に備えてほしい。	月一回の自主訓練の実施。	年度計画に取り入れ、システムとして構築させる。	6ヶ月
3	45 (17)	前日に入浴をした人にも「今日も入れます」と声をかけ、希望が出れば支援する体制を工夫してみたい。	自己決定の機会の提供と捉え、連日の入浴者でも声掛けを行っていく。	職員への教育及び理解を深めていく。また入浴予定者の増減も考慮した体制作り。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。